

# 持続可能な果樹産地を支えるDX活用型リスキリング技術の開発

○実施期間：令和8～12年度

○担当部署：果樹・農産物利用部、岐阜大学、岡山大学、ホロラボ（株）

○区分：プロジェクト（食料確保・生産力向上プロジェクト）

## ○研究内容

カキ生産には、暗黙知に依存した栽培技術が多く、人口減少に伴う担い手不足によって、技術伝承が困難となっています。産地が保有する暗黙知の形式知化を図るため、画像解析、AI、IoT機器のデータなどを活用した栽培管理技術を開発し、このままでは減少していくカキ生産量の維持を図ります。生産性を向上するクラウド型かん水制御システムの構築、樹体3Dモデルを利用した栽培および生育管理指標の作成、画像解析やAIなどによる解析データを使用した栽培管理の最適化および果実品質向上、スマート農機の活用による労働生産性の向上に取り組めます

